

「日本における鉄道貨物事業の現状と将来展望」

日時：6月7日(火) 16:50-18:35 (5限)

**国際学術総合研究棟4階SMBCHホール
対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、日本貨物鉄道株式会社代表取締役会長 田村修二氏からお話を伺います。

国鉄改革から35年経過、その間の社会・経済の変化に対応して、鉄道貨物事業の効率化と不動産事業の拡大強化により経営基盤を固めてきた到達点を示します。最近の外部環境(SDGs・カーボンニュートラル、DX・技術革新、人口減少と労働力不足、自然災害激甚化、コロナ禍など)の急激な変化の下で、今後とも日本の経済・社会に貢献していくビジョンを掲げ、「挑戦、そして変革」している姿を、改革時に設定された枠組みの状況を含め、述べます。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加・アクセス出来ません。)

※ オンライン授業URLはITC-LMS又はUTASで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

—問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp—



日本貨物鉄道株式会社
代表取締役会長
田村修二氏